



2019年9月17日

各 位

会社名	大豊工業株式会社
代表者名	代表取締役社長 杉原 功一
コード番号	6470（東証・名証第一部）
問合せ先	執行役員 延川 洋二
電話番号	(0565)28-2800

### (開示事項の経過) 特別調査委員会による調査の経過 及び調査期間延長に関するお知らせ

当社は、2019年8月2日付「特別調査委員会設置に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、当社の海外連結子会社であるタイハウ コーポレーション オブ アメリカにおける期末棚卸資産の不適切な会計処理について、当社とは利害関係を有しない外部の弁護士が委員長を務め、その他の社外の専門家を含む委員で構成される特別調査委員会を設置し、調査を行ってまいりました。

また、当社は2019年8月14日付で関東財務局に対し、2020年3月期第1四半期報告書(自2019年4月1日 至 2019年6月30日)の提出期限延長を申請するとともに、同日付で関東財務局から、提出期限を2019年9月17日とする旨のご承認をいただきました。

その後、後記のとおり、特別調査委員会の調査を進めてまいりましたが、新たに調査項目が発生し、調査期間を延長する事となりましたので、下記のとおりお知らせ致します。

#### 記

##### 1. 特別調査委員会の調査状況

当社は、海外連結子会社であるタイハウ コーポレーション オブ アメリカ（以下、「TCA」という）における不適切な会計処理の疑義判明後、特別調査委員会を設置し、調査を進めてまいりました。特別調査委員会は、調査の客観性・中立性・専門性を確保するため、委員長には当社と利害関係を有しない外部の弁護士を起用し、その他社外の専門家を含む委員を任命しております。

特別調査委員会の調査範囲は、期末棚卸資産の不適切な計上に係る以下項目であります。

- (1) 事実関係の調査
- (2) 類似する問題の存否及び事実関係の調査
- (3) 上記(1)及び(2)で確認された事実関係の原因分析及び再発防止策の提言
- (4) 上記のほか、当委員会が必要と認めた事項

具体的に実施した調査としては、下記のとおりであります。

- (1) 関連資料の精査
- (2) TCA、当社の役職員 25 名と当社の会計監査人である PwC あらた有限責任監査法人の担当者 2 名に対するインタビュー
- (3) デジタルフォレンジック調査  
下記対象に本件に関するキーワードを設定、当該キーワードを用いて検索・抽出した 19,892 件のデータの精査
  - ・ TCA に所属したことがある大豊工業及び TCA の役職員 14 名
  - ・ 2019 年 1 月以後 TCA を担当した大豊工業役職員 9 名
- (4) 棚卸資産の精査

当社は上記調査に対し全面的に協力しており、特別調査委員会は、上記調査を通じて、不適切な会計処理の手法、実行者とその動機、目的の解明、影響額の調査により当初の疑義についてほぼ判明しております。

しかしながら、新たな事案として、下記 3 点判明しております。

- (1) TCA における棚卸資産の不適切な会計処理を端緒に過年度連結財務諸表における TCA 有形固定資産に係る減損損失について、米国の当該専門家において金額算定をした結果、当初想定していたよりも金額的重要性がある事が 2019 年 9 月 13 日に判明しております。(減損損失 約 20 億円)
- (2) (1) の減損損失が当初想定していたよりも金額的重要性がある事に伴い、特別調査委員会は、これら TCA における減損損失の発生と棚卸資産の不適切計上との関係や 2019 年 9 月 9 日に発行された特別調査委員会調査報告書の草案についての、監査法人との質疑応答、監査法人による特別調査委員会の調査範囲、手法及び内容の妥当性の検討などの対応や追加的調査と再発防止策も含めた提言を当初想定していた以上のレベルで行なう必要があることを、2019 年 9 月 14 日に判断しております。
- (3) (1) の減損損失が当初想定していたよりも金額的重要性がある事に伴い、調査報告書の草案における特別調査委員会の調査範囲、手法及び内容の検討についての質疑応答及び特別調査委員会の調査結果に対する監査手続きの実施を当初想定していた以上のレベルで行なう必要があると、監査法人より指摘を受けております。

以上の事から、特別調査委員会は、調査を継続することを判断いたしました。

## 2. 今後の見通し

当社としては徹底した原因分析と再発防止策の策定を行い、投資家に対する説明責任を果たすべきと考え、特別調査委員会の報告を待つとともに、調査報告書の受領予定日が決定した場合には、速やかに公表致します。

株主・投資家の皆様をはじめ、市場関係者及び取引先の皆様には多大なるご迷惑とご心配をお掛けいたしております事を心よりお詫び申し上げます。

以上